

KUMAMOTO

GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international



ロータリー：
変化をもたらす

2017～2018年度テーマ

国際ロータリー 「変化をもたらす」 R.I.会長 イアンH.S.ライズリー

地区方針 「ロータリーを奨励し、ロータリーを楽しもう」
R.I.2720地区ガバナー 永田壮一

熊本グリーンRC 「ロータリーを楽しみ、会員相互の研鑽・親睦を深めよう」
熊本グリーンRC会長 河野景治

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：河野景治 ■幹事：中島三千代 ■会報担当：長野義文
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

【2017年7月31日】

第1268回

2017-2018年度 第4回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

黙祷:山崎 勝バスターガバナーが平成29年7月29日にご逝去されました。哀悼の意を表し黙祷を捧げます。

「熊本グリーンRCの歌」(ロータリーソング)

来訪者紹介 (河野 景治 会長)

なし

友情の握手

会長スピーチ (河野 景治 会長)

今日の例会は冒頭に、29日に逝去されました山崎バスターガバナーへの黙祷を捧げさせていただきました。黙祷の最中は、バスターガバナーと最初にお会いした時からこれまでの場面云々の回想のひとつでもありました。「山崎先生」と最初から、そして今でもお呼びしてました。

私は日専連という組合団体に所属しており、先生も日専連の会計関連業務を随分以前からお亡くなるまで継続して従事しておられました。私も学生の頃より先生のことは先代(父)から聞き及んでおり、社会人になって初めて先生にお会いした時「貴方が銀染の息子さんか！」と目を細めて喜んで頂きました。以来、種々の会合で一緒にいる時いろいろとお尋ね

しやすく、たいへん勉強させて頂きました。そして何よりの巡りあわせは山崎先生がガバナーをなされた2009～10年は、私が初めてグリーンロータリークラブの会長を仰せ付かった年度でもございました。山崎先生がガバナーという事で、不必要な緊張をすることもなく一生懸命、任を全うさせて頂きました。また、キャッスル内RC事務局の専門委員会においても常任委員の先生と同席させて頂いていた次第です。今日、事務局から聞いたことですが、先生は今月の東クラブの例会もご出席されていたとの事。あらためて急逝であったことを心からお悔やみを申し上げますと共にご冥福を心よりお祈り申し上げます。

幹事報告 (田中 純司 会員)

■ 報告事項 (その他のロータリー関係)

①「4RC 合同永田壮一ガバナー公式訪問」のご案内

日時：平成29年9月7日(木)

食事：12:10～12:30 (食事は12:10～一斉スタートです)

合同例会：12:30～13:30

集合写真：13:30～13:50

(4RC、順番に撮影)

場所：ホテルキャッスル 地階「クリスタルホール」

★9/4(月)の当クラブ例会は、この9/7(木)の合同例会に変更とします。

卓話予定

8/7 「ヒアリについて他」小野友道氏(元 熊本保険科学大学 学長：熊本RC)

8/21 会員増強クラブフォーラム

8/28 「スーパースプリント・アクアスロン大会卓話」

【熊本グリーンRC ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

★熊本グリーンRCは、大友ガバナー補佐の所属クラブですので、この4RC合同公式訪問のホストクラブとなっております。後ほど、当日の役割分担等を話し合います。

■ 例会変更・取止め

<例会変更>

【熊本りんどうRC】

①8月3日(木)の例会は、会員の厄払いのため、同日19:00に石松茶屋にて行います。都合により、サイン受付けは行いません。

②8月10日(木)の例会は、祭日週のため、取止めます。尚、祭日週の休会の際は、サインの受付は行いません。

【熊本平成RC】

8月16日(水)の例会は、3RC合同ガバナー公式訪問のため、8月18日(金)12:30より、ホテルキャッスルにて行います。

<例会取止め>

次の例会は、定款第8条第1節に基づき、例会を取りやめます。

【熊本りんどうRC】	8月31日(木)
【熊本江南RC】	8月16日(水)
【熊本西南RC】	8月17日(木)
【熊本平成RC】	8月30日(水)

出席報告

(栗山義則クラブ管理運営委員(出席担当長))

会員総数		21名	出席率
7月31日	出席免除会員数	2名	36.84%
	計算上会員数	19名	
	出席会員数	7名	
7月17日	前回の出席会員数	11名	68.42%
	メイクアップ数	2名	
	修正出席会員数	18名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			

委員会報告

「グリーンRC農園」の畑の現状
奉仕プロジェクト委員長 福島 和見会員
熊本グリーンRC農園の草取りに各々行く様にとのご連絡が来ましたので、行きましたが、それぞれ1人で草取りに行っても、勝手がわからず5m位しか出来ませんでした。日にちを決めて、皆で一斉に行った方が良いのではないだろうかと思いました。

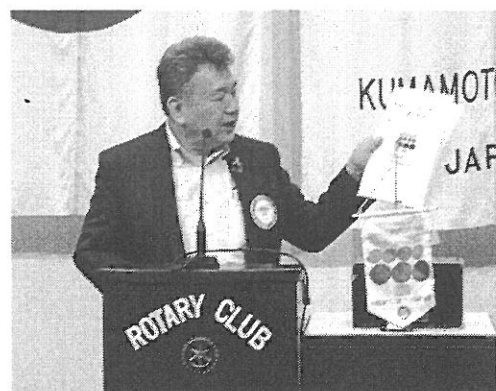
スマイル

○河野 景治 君、荒木 一之 君
○「山崎パストガバナーのご逝去に接し、お悔やみのスマイルを申し上げます。」
○田中 純司 君、大友 利行 君
○福島 和見 君、栗山 義則 君
○①「先週のクラブ協議会、欠席致しました。会員増強委員長の代理をつとめて頂きました福島様
○ありがとうございました。(田中)」
○②「山崎パストガバナーのご逝去に慎んでご冥福をお祈り申し上げます。」

3. 例会プログラム

河野 景治 会長

- ①「定款・細則改定の為のクラブ・フォーラム」
- ②「永田壮一ガバナー公式訪問」の打合せ



①「定款・細則改定の為のクラブ・フォーラム」

今日の例会はRIの基準改定に伴う「クラブ定款及び細則の改定」について、理解している範囲でございますが説明させていただきます。

他のクラブにおいても昨年度末から今年度初めにかけて、これらの改定が行われているようです。我がグリーンクラブにおいても、ガバナー公式訪問時までに作成する「現況及び活動報告書」に基準に則した「クラブ定款及び細則」を記載する必要もあります。そこで本日その説明を行い、次週の例会時の臨時総会で決議できればと存じます。

内容としましては、Eクラブや衛星クラブ等の文言に関わる改定、例会に関わる改定、出席に関わる改定等、それらの関係項目について、本日の資料にアンダーラインで表示されております。また、クラブ細則も同様に本日の資料と相成っております。まずは次の臨時総会で決議を行ない、ガバナー公式訪問へ臨みたいと存じます。

そして、その9月7日(木)のガバナー公式訪問でございますが、ガバナー補佐を輩出するクラブがホストを務めることと相成っております。添付資料(案)の通り、グリーンRCクラブ全員の当日の役割分担・遂行が必須であります。どうぞ、通常の例会日とは異なりますが、宜しく日程調整のうえ、是非のご参加をお願い申し上げます。

②永田壮一ガバナー公式訪問について

日時：合同例会及び写真撮影

食事 12:10～12:30 (食事は12:10 一斉スタート)

合同例会 12:30～13:30 (後半の卓話時間は永田ガバナーアドレス)

写真撮影 13:30～13:50

(熊本東、熊本東南、熊本北RC、熊本GREENの順番です)

場所：熊本ホテルキャッスル 地階「クリスタルホール」

ホストクラブ：熊本GREENロータリークラブ (大友利行ガバナー補佐在籍クラブの為)

*当クラブの役割

1. 集合時間 11:00前
 2. 受付開始 11:00
 3. 会場内へ各クラブ会員の誘導
 4. 全員スマイル→受付で各クラブ1,000円/1人をスマイルして頂く。
- 12:35 位に各クラブ分を集計して、合計金額発表→熊本県ロータリー奨学会へ壇上で贈呈
5. 公式訪問の様子を写真撮影→各クラブ(熊本GREENRCと他3RC分)の週報へ掲載
(式次第にそって、壇上に上がった方全員をその都度撮影する。)
 6. 各クラブ集合写真撮影→各クラブへデータをお渡しする。
- 椅子を並べたりして集合写真の場所設営

4. 閉会・点鐘



グリーン瓦版 「サラリーマン川柳 (文芸春秋6月号より抜粋) (仙波)」

- ・デジカメのイサはなんだと孫に聞く
- ・皮下脂肪 資源にできればノーベル賞
- ・このオレにあたたかいのは便座だけ
- ・昼食は妻はセレブで俺セルフ
- ・ボディコンを無理して着たらボンレスハム
- ・ドットコム どこが混むのと聞く上司
- ・連れ込むな！わたしは急に泊まらない
- ・いい夫婦 今じゃどうでもいい夫婦
- ・「課長いる？」返ったこたえは「いりません！」
- ・定年後 寄ってくるのはルンバだけ



グローバル補助金： 持続可能性を 実現するには？



キョロリン・ジョンソン氏は、ヤークラフ（米国メイン州）の会員で、第7780地区バストガバナー、識字率向上

のためのロータリーアクションプロジェクト副委員長、重点分野「基本的教育と識字率向上」を専門とするロータリー財団専門家グループメンバーを歴任しています。2007年まで小学校校長を務め、退職後グアテマラで、複数年にわたる教育支援のグローバル補助金プロジェクトを立案しました。

今回、持続可能なグローバル補助金を立案するためのヒントをお話ししました。

ロータリーリーダー：グローバル補助金の立案で、クラフは何に気を付けることができますか？

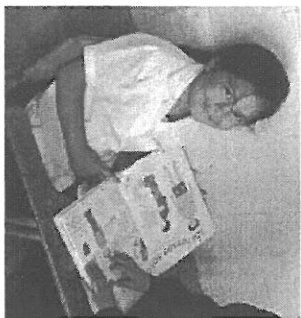
ジョンソン：会員が現地に行き、そこで何らかの経験をするだけでも、多くの補助金アイデアが生まれます。その場にいることでニーズが分かるのです。ニーズが明らかになれば、補助金の立案も大いに盛り上がりやすいです。「ニーズ調査をしましたか」と私は聞きたいです。

現地で地元の人と話し、地域のニーズを聞いてください。もしかすると、クラフが試みようとしていることとは、現地の人が管理できる許容範囲を大きく超えているかもしれません。または、すでに何らかの活動が進行していて、クラフがそれに気づいていないということもあります。

ロータリーリーダー：ニーズ調査はどのような行いますか？

ジョンソン：識字率向上プロジェクトの場合、教師、地域社会の住民、校長、生徒、保護者と面談することです。いろいろな形式で行うことができます。会合を設けることもできれば、学校訪問や授業参観も参考になります。そして調査です。学校にはどのような教材、図書、教師研修、カリキュラムがあるか、などなど。また、地元政府・自治体関係者と面談することで、支援を確保できるかもしれません。そして、地元ロータリークラブと連携し、実施することを確認します。

ロータリーリーダー：グアテマラでの識字率向上プロジェクトは20年以上にわたる長期活動ですが、プロジェクトを長期的に行うことは大切なことですか？



ジョンソン：教育では特に重要で、一度に出来ることではありません。教材を持参し、研修を行い、成果を測定しつつ、フォローアップすることも必要となります。これらの重要な要素は、プロジェクト立案段階で持ち込むべきで、あとで付け足すものではありません。

カナダのロータリーが教師訓練チームを編成し、グアテマラを2月に訪問して、そこで4週間滞在しました。手本を見せ、一緒にやってみて、学校で集中的に訓練を実施しました。研修参加者は大きな成果を上げました。そして、以後1年間、スカイプで現地教師と月に1度、対話を重ねることにしました。集中的に研修を実施した後、ほったらかしではいけません。地元ロータリー会員や学校代表者などを通じて、スカイプのようなオンライン手段で連絡を取り合うことが大切です。フォローアップすること、成果を継続させていくのです。

皆さんの地区やクラブでは、新しいリーダー、ローターアクター、地域住民を対象とした能力開発イベントの実施を計画していますか。「実践リーダーシップ」では、推奨カリキュラムに合った各分野のセッション情報が掲載されています。若い人々によるロータリーへの参加を促進するためにも、このようなイベントの実施を推進しましょう。

「グローバル補助金ガイド」への変更に合わせて、「補助金管理セミナー指導者用マニュアル」の内容も更新されました。

My ROTARYに登録することで、ロータリーで提供されている多くの役立つリソース、参考資料、ツールを利用できるだけでなく、クラブの情報を閲覧したり、ロータリー世界の最新情報をいち早く入手したりできます。「入会候補者情報プログラム」を使用するためにもMy ROTARYへのログインが必要となるため、こちらの「アカウント登録方法」を参考に今すぐアカウントを作成しましょう。

今後の予定

- 7月**
新年版スタート
- 1日**
クラフ・地区の役員が就任
- 31日**
2016-17年度カンパニーがカンパニーの経営報告を行う締め日
- 8月**
会員増強・新クラブ編成推進月間
- 15日**
インタークラブ用の会長賞に関して、提唱ロータリークラブの会長または地区リーダーがインタークラブの表彰を報告する最終日